

(別紙)

令和2年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：循環型社会システム構築大学連携事業

事業実施期間：平成29年度～令和2年度

担当課室名：循環型社会推進課

担当班名：リサイクル推進班

TEL：022-211-2649

e-mail：junkanr@pref.miyagi.lg.jp

URL：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/

1 事業の目的

平成28年3月に策定した宮城県循環型社会形成推進計画（第2期）の中で重点課題となっている「小型電子機器等リサイクル制度の推進」及び「食品廃棄物等のリサイクルの推進」のため、地元大学との共同研究等により、宮城県における希少金属や食品廃棄物等の実効的なリサイクルシステム構築に向けた各種検討や取組みを実施する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

(1) 希少金属等リサイクルシステム構築事業

平成29年度から令和3年度まで実施した小型家電リサイクルシステム実証試験のまとめについて「希少金属等リサイクルシステム構築連絡協議会」をオンデマンド配信により1回開催した。

(2) 食品廃棄物等のリサイクルシステム構築事業

循環資源のエネルギー回収施設の導入を一般廃棄物処理計画に位置付ける際に市町村等が活用可能なモデルの実現可能性を探るため、関係機関による勉強会を各3回実施し、市町村等と民間が連携して実施するモデルの事業採算性等について検討した。また、メタン発酵施設の水処理技術及び消化液の活用について大学に委託して検討を行った。

3 当該年度の実施事業の成果

(1) 「希少金属等リサイクルシステム構築連絡協議会」をオンデマンド配信により開催し、

3年間の実証試験のまとめ等について東北大学と県から講話を行い、28人の参加があった。

(2) 民間企業や市町村等の関係機関による勉強会を3回実施し、他県の事例も参考としつつ、

一般廃棄物と産業廃棄物の集約処理を行うサーマルリサイクル施設等について、事業化に向けた検討を行った。また、バイオガス化施設について大学や研究機関と連携し、メタン発酵施設の排水処理の技術開発や発酵残渣利活用方法の検討を行い、今後県内に施設設置予定の民間企業等も参加し、検討会を各3回実施した。

4 今後の展開

- (1) 令和元年度で本事業は一旦終了したが、連絡協議会を引き続き実施する予定である。
- (2) 令和2年度で本事業は終了したが、今後第3期循環計画を推進していく上で活用していく。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：小型家電リサイクル制度に取り組む市町村数)

単位：市町村

平成30年度	令和元年度	令和2年度
34	34	34

(指標：食品廃棄物等の再生利用に実施について一般廃棄物処理計画に位置付けている市町村数)

単位：市町村

平成30年度	令和元年度
13	13

※ 令和2年度実績は調査中。

6 事業費の推移

単位：千円

平成30年度	令和元年度	令和2年度
33,435	24,677	13,345